

# 学校施設長期保全計画 《概要版》



平成26年3月  
川崎市教育委員会

# 現状と課題

本市の学校施設は、非木造施設約130万㎡のうち、築年数が20年以上の施設は、約90万㎡と全体の7割を占めており、老朽化が進んでいます。

こうしたストックが偏在している状況の中で高まる改築需要の抑制を図る必要があります。また、新学習指導要領等に基づく多様な学習内容や形態に対応した、高機能かつ多機能な施設環境の整備に加え、防災対策、バリアフリー化、普通教室やトイレ等のこどもたちの学習・生活空間の快適化、環境負荷の低減等の様々な配慮が学校施設には求められています。

改修による老朽化対策、教育環境の質的向上、環境対策を行う再生整備と予防保全を基本とし、長寿命化の推進による財政支出の縮減と平準化を図るために長期保全計画を策定します。

## 長期保全計画に基づく取組内容

●目標耐用年数：80年に設定します。

●グルーピング：

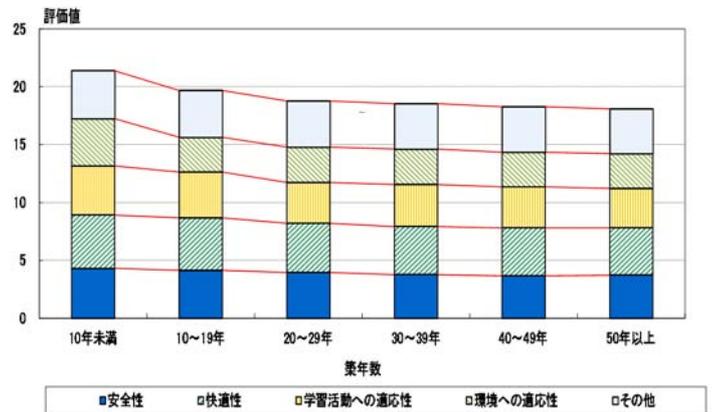
学校施設評価の結果、築年数が多くなると評価値が低くなることから、平成25年4月1日を基準として校舎と体育館を築年数に応じて3グループに分類します。

Aグループ：築20年以下（校舎39校・体育館37校）

Bグループ：築21年～30年（校舎36校・体育館90校）

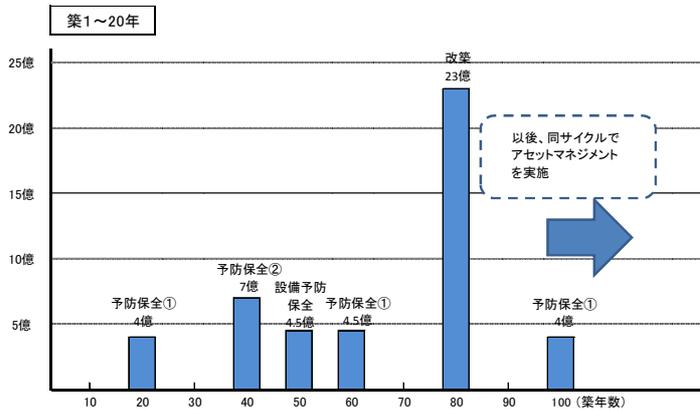
Cグループ：築31年以上（校舎98校・体育館48校）

●グループごとの今後の整備実施時期及び整備メニュー



### Aグループ

【校舎】  
※費用は6,000㎡を想定

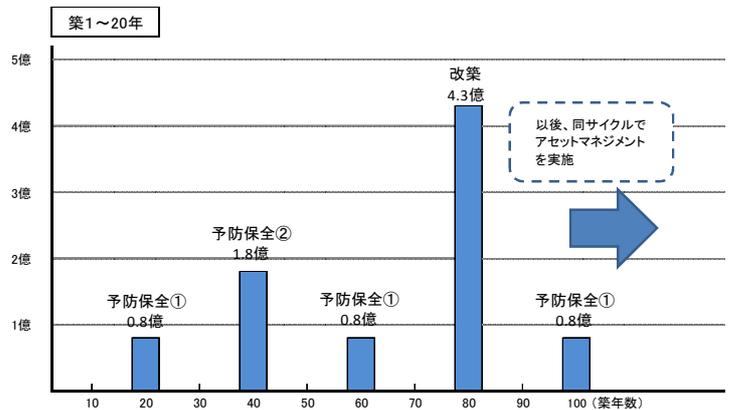


予防保全①：防水・外壁・内装・電気設備補修、エレベータ改修等

予防保全②：防水・外壁補修、内装改修、トイレ・エレベータ改修、断熱化、蓄電機能付太陽光発電設備等

設備再生：給排水設備・受変電設備改修等

【体育館】  
※費用は改修800㎡、改築1,000㎡を想定



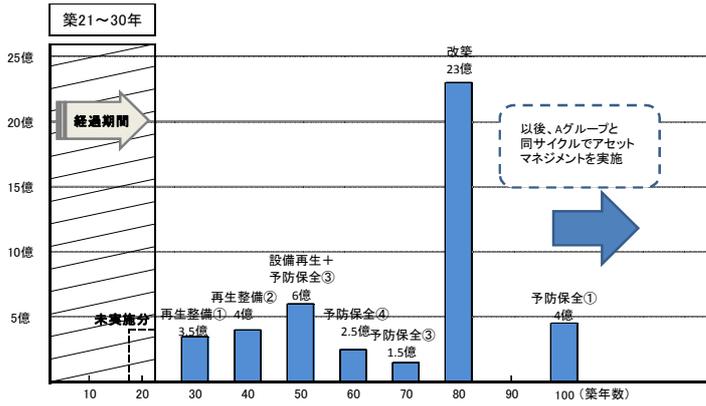
予防保全①：屋根・外壁補修、照明改修等

予防保全②：屋根・外壁補修、内装改修、照明改修、断熱化、太陽熱利用システム等

## Bグループ

### 【校舎】

※費用は6,000㎡を想定



再生整備①：防水・外壁補修、トイレ改修、エレベータ設置、蓄電機能付太陽光発電設備等

再生整備②：内装改修、断熱化等

設備再生：給排水設備・受変電設備改修等

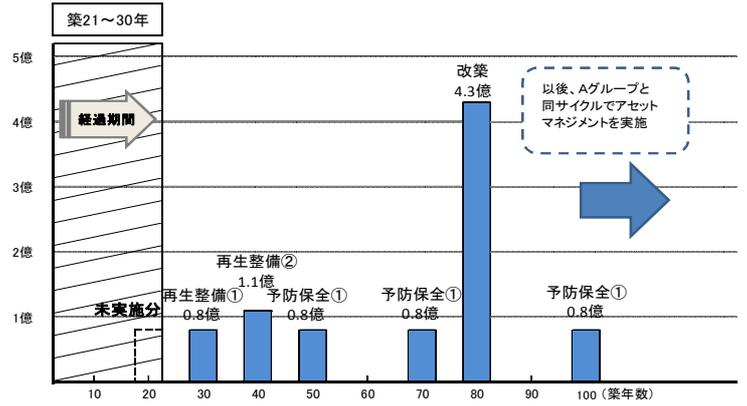
予防保全③：防水・外壁補修、蓄電機能付太陽光発電設備等

予防保全④：内装・電気設備補修等

※過年度未実施分の整備については、劣化度合いに応じて、営繕により対応します。

### 【体育館】

※費用は改修800㎡、改築1,000㎡を想定



再生整備①：屋根・外壁補修、照明改修等

再生整備②：内装改修、断熱化、太陽熱利用システム等

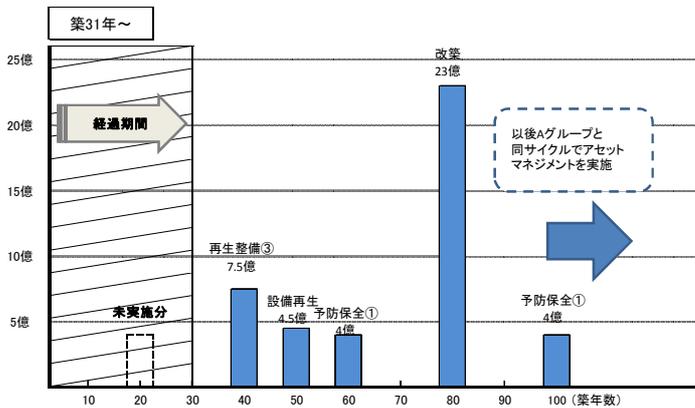
予防保全①：屋根・外壁補修、照明改修等

※過年度未実施分の整備については、劣化度合いに応じて、営繕により対応します。

## Cグループ

### 【校舎】

※費用は6,000㎡を想定



再生整備③：防水・外壁補修、トイレ改修、エレベータ設置、内装改修、断熱化、蓄電機能付太陽光発電設備等

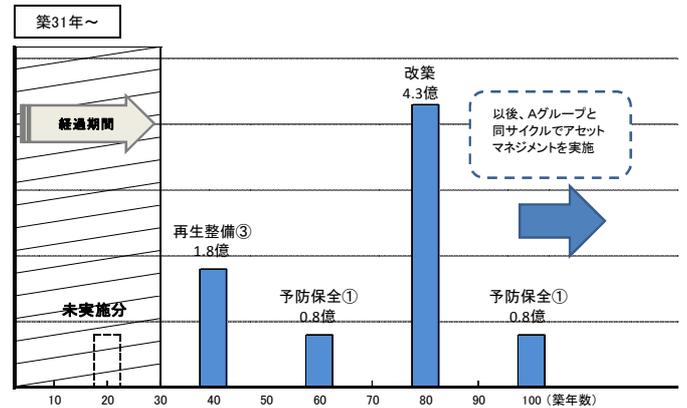
設備再生：給排水設備・受変電設備改修等

予防保全①：防水・外壁・内装・電気設備補修、エレベータ改修等

※過年度未実施分の整備については、築後30年以上経過していることから、劣化度合いに応じて、計画的に内外装改修工事等を再生整備の前に実施します。

### 【体育館】

※費用は改修800㎡、改築1,000㎡を想定

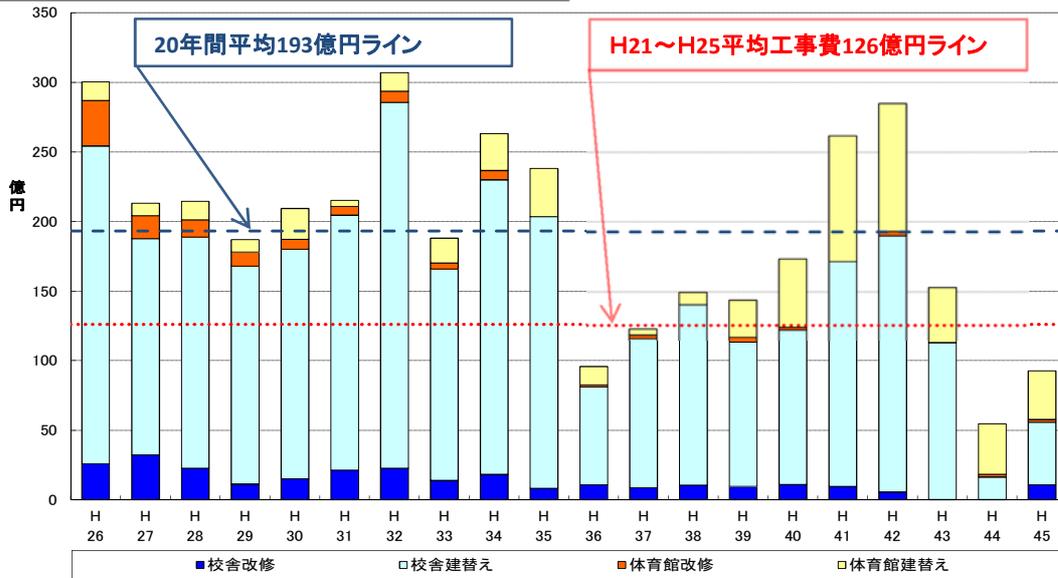


予防保全①：屋根・外壁補修、照明改修等

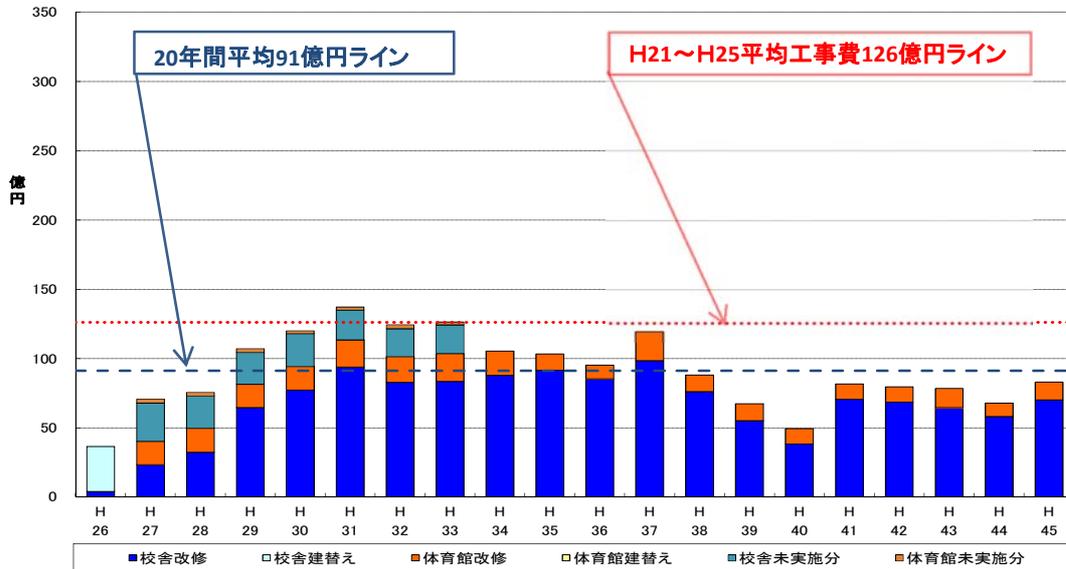
再生整備③：屋根・外壁補修、内装改修、照明改修、断熱化、太陽熱利用システム等

※過年度未実施分の整備については、築後30年以上経過していることから、劣化度合いに応じて、計画的に内外装改修工事等を再生整備の前に実施します。

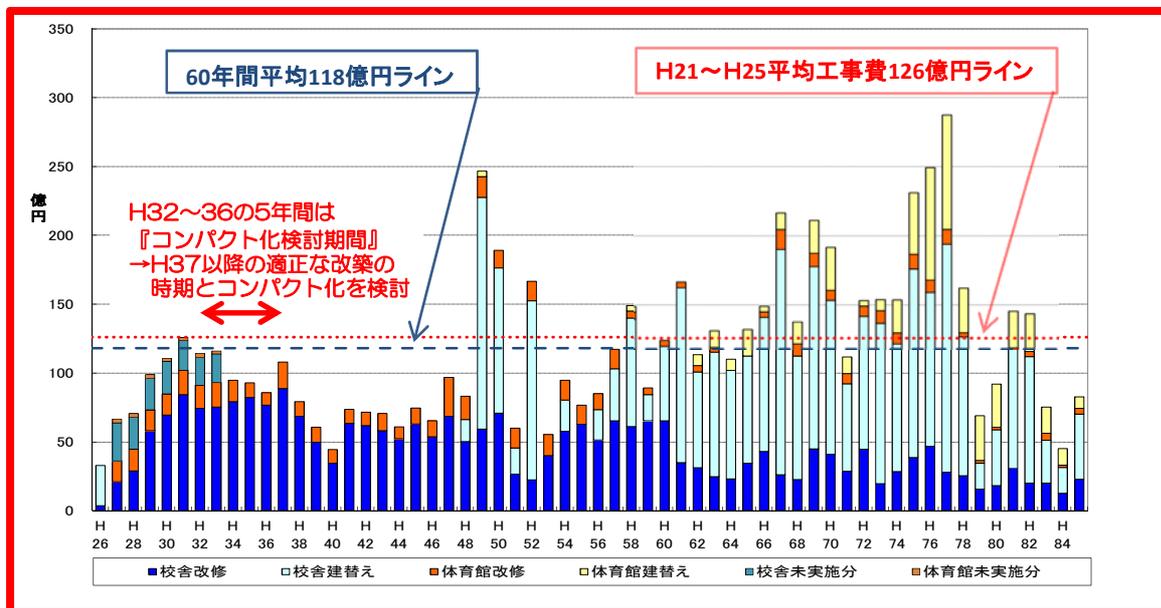
## 築後45年で建替パターン(従来型)今後20年間



## 築後80年で建替パターン(長寿命化型)今後20年間



## 築後80年で建替パターン(長寿命化型・10%削減)今後60年

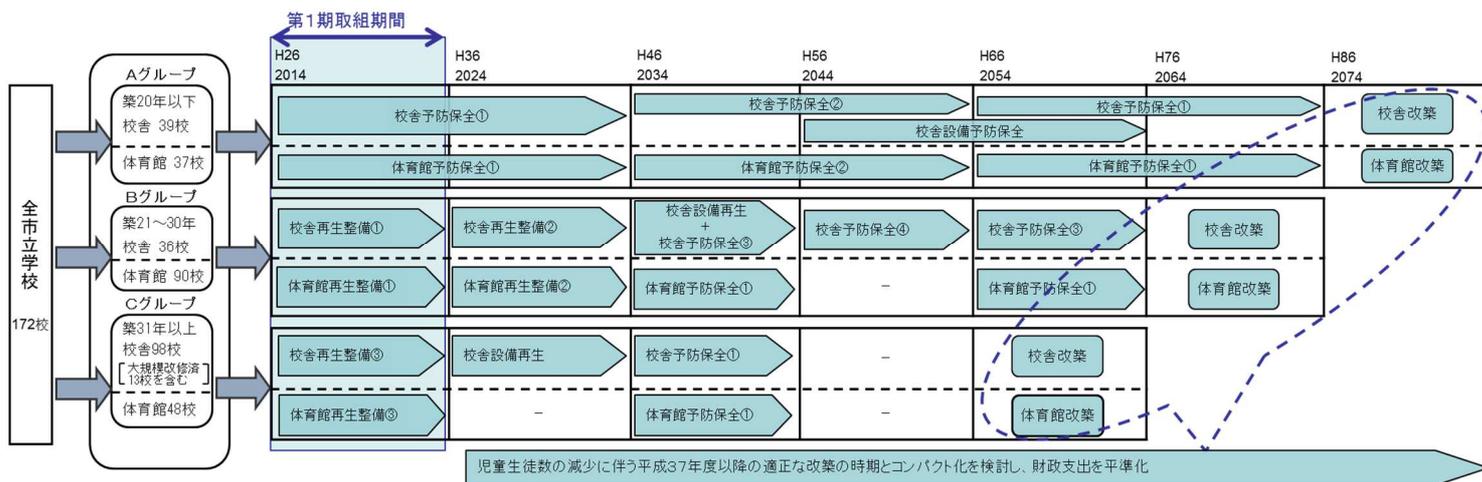


# 第1期取組期間の実施方針

●平成26年度から概ね10年間で第1期取組期間とし、この間は、これまでの改築を中心とした手法に替えて、改修による再生整備と予防保全の併用を基本とし、学校施設の教育環境の改善と長寿命化の推進による財政支出の縮減を図ります。

●長寿命化が図られた学校施設が再び改築の時期を迎え、平成60年代から平成70年代に集中する財政支出の平準化を図るため、5～14才の年少人口が平成32年度にピークを迎え平成37年度から減少傾向に転ずることから、平成37年度以降の適正な改築の時期とコンパクト化を検討します。（平成52年に平成22年比で15%の人口減）

【参考1】整備実施フロー図



【参考2】将来の工事費比較表

	平均工事費	総工事費
45年建替(従来型) 今後20年間	約193億円	約3,867億円
80年建替(長寿命化型) 今後20年間	約91億円	約1,815億円
H21～25平均 (当初予算ベース)	約126億円	約7,560億円
80年建替 (長寿命化型・保有面積10%削減) 今後60年間	約118億円	約7,064億円

【参考3】「第3期実行計画策定に向けた将来人口推計について」(H22.4)から抜粋

H32をピークにH37から減少傾向となり、H52にH22比で約15%減少

年齢	5-14	H22	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62
		119,558	127,827	117,806	108,819	103,887	101,665	101,136	99,087

# 再生整備の改修イメージ

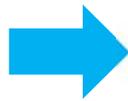
【校舎】 学校施設の質的改善による子どもたちの学習・生活環境の改善を図ります。  
改修に手法を転換し、より多くの学校の教育環境を早期に改善を図ります。



## 改修のイメージ

【教室】 木質化で、落ち着きのある教室

改修前

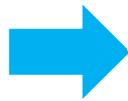


改修後のイメージ



【廊下】 木質化で、暖かみのある廊下

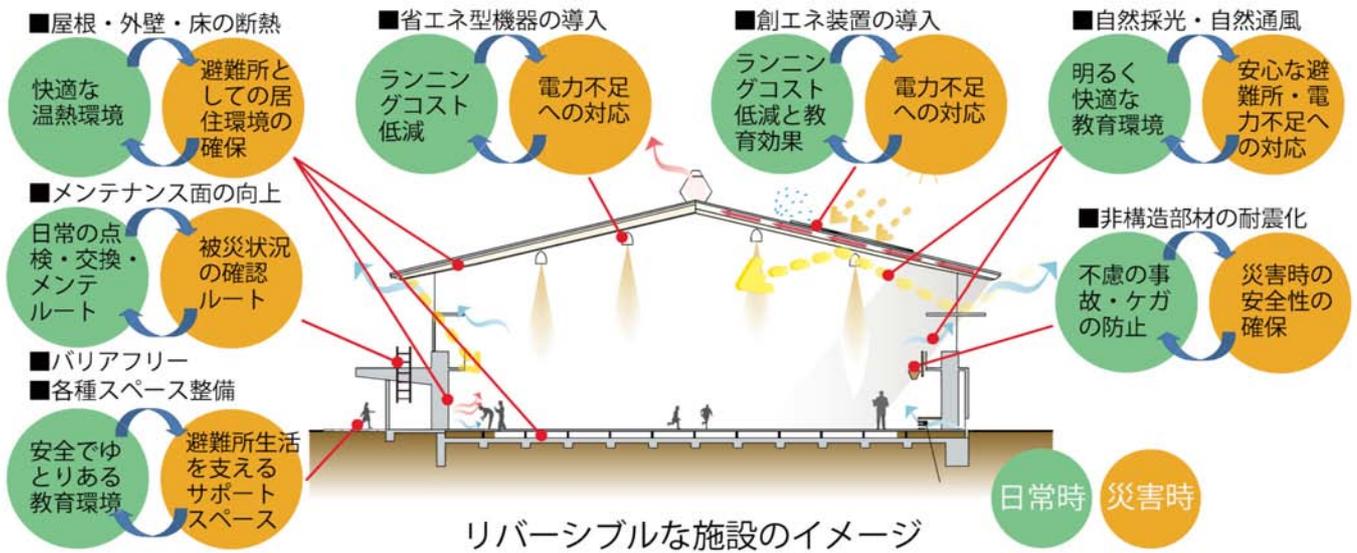
改修前



改修後のイメージ

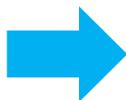


【体育館】 避難所の中心的役割を担う体育館を総合的な防災機能を備えた施設改修を実施し、地域防災力の向上を図ります。



トイレ快適化の事例

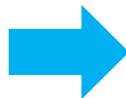
【トイレ】 明るく、快適な洋式トイレ  
改修前



改修後



【トイレ】 明るく、きれいな男子トイレ  
改修前



改修後





KAWASAKI CITY

川崎市教育委員会事務局教育環境整備推進室

電話：044-200-3272

FAX：044-200-3679

E-mail：88seibi@city.kawasaki.jp